

第12課 強烈否定與部分否定：わけがない・ どころではない／どころか・ものか・わけで はない・というものではない

第12課對應《新完全マスター N2》第1部「II 主観を含めて説明する（帶主観説明）」的第12課，主題是「強烈否定」與「部分否定」。本課最重要的，是分清兩種完全相反的否定強度：一邊是把整件事徹底否定掉的「～わけがない、～ものか（才不...呢）」，以及表示「程度差很遠／別說...了」的「～どころではない・～どころか」；另一邊是只否定一部分、留有餘地的「～わけではない・～というわけではない、～というものではない・～というものでもない（並非一定...）」。

看清楚說話人是要「全盤否定」還是「只否定一部分」，是本課的關鍵。

■ 今課目標

- 用「～わけがない」表達「絕不可能...、沒道理...」，是說話人確信「絕對不是這樣」的強烈否定。
- 用「～どころではない・～どころか」表達「哪裡還能...／別說...了，連...」，前後程度差很遠或相反。
- 用「～ものか」表達「才不...呢」，是帶感情、反問式的強烈否定（口語）。
- 用「～わけではない・～というわけではない」表達「並非...、不是說一定...」，只否定一部分。
- 用「～というものではない・～というものでもない」表達「並不見得...就對／就好」，否定「只要...就一定...」的想法。

一、～わけがない：絶不可能...

■ 說話人確信「絕對不是這樣」

「～わけがない」表示「絕對不可能...、沒有道理...」，是說話人從常理出發、確信「絕對不是這樣」的強烈否定，意思接近「絶対～ない」。這是把整件事徹底否定，不是「不一定」。口語也說「～わけはない」。

■ 形式規則

普通形（ナ形容詞 だ→な／である・名詞 だ→の／である）＋わけがない。表示說話人確信「絕對不是這樣」。

■ 例句

1. こんなに難しい問題、初心者に解けるわけがない。
→ 這麼難的題目，初學者絕不可能解得開。
2. 毎日練習をさぼっている彼が、試合で勝てるわけがない。
→ 天天偷懶不練習的他，比賽絕不可能贏。
3. あの正直な田中さんが、嘘をつくわけがない。
→ 那麼老實的田中先生，絕不可能說謊。
4. 有名なシェフが作った料理だ。おいしくないわけがない。
→ 這是名廚做的菜，不可能不好吃。

二、～どころではない・～どころか：哪裡還能...／別說...了

■ 程度差很遠，或結果相反

～どころではない 表示「現在的狀況根本不容許做...，哪裡還談得上...」，後句說「連那件事都做不成」。～どころか 表示「別說...了」，前後程度差很遠，常引出比前件更糟的事；也可表示「不但不...，反而相反」。

■ 形式規則

名詞／普通形（ナ形容詞 だ→（な）／である・名詞 だ→である）＋ どころではない・どころか。前後程度差很遠或相反，多帶出比前件更壞的狀況。

■ 例句

1. 仕事が山積みで、旅行に行くどころではない。
→ 工作堆積如山，哪裡還談得上去旅行。
2. 風邪かと思っていたら、風邪どころか肺炎だった。
→ 本以為是感冒，別說感冒了，竟然是肺炎。
3. 少し注意しただけなのに、彼は反省するどころか、逆に怒り出した。
→ 我只是稍微提醒了一下，他非但不反省，反而發起脾氣來。（相反）
4. 貯金が貯まるどころか、毎月赤字が続いている。
→ 別說存到錢了，每個月還持續入不敷支。

三、～ものか：才不...呢

■ 帶感情、反問式的強烈否定

～ものか 用反問的語氣表示「才不...呢、怎麼可能...」，是帶感情、語氣很強的否定，屬口語。男性多說～もんか，女性一般用～ものですか／～もんですか，語感較鄭重。後面常補一句說明理由。

■ 形式規則

普通形（ナ形容詞 だ→な・名詞 だ→な）＋ものか。口語、帶感情的強烈否定；～もんか 更隨便。

■ 例句

1. あんな失礼な店、二度と行くものか。
→ 那麼失禮的店，我才不會再去呢。
2. こんな下手な絵が、賞をもらえるものか。
→ 這麼差的畫，怎麼可能得獎呢。
3. いつも遅刻する彼が、時間どおりに来るもんか。
→ 老是遲到的他，才不會準時來呢。（もんか）
4. あの人が約束を守るものですか。口先だけの人ですよ。
→ 那個人才不會守約呢，他只會嘴上說說。（ものですか）

四、～わけではない・～というわけではない：並非...

■ 只否定一部分，留有餘地

～わけではない 表示「並不是...、不是說一定...」，只否定其中一部分，不是全盤否定，留有餘地。常和「いつも・だれでも・どこでも」這類含「全部」意味的詞，或「必ずしも」一起用。～というわけではない 語氣更委婉、更帶說明。

■ 形式規則

普通形（ナ形容詞 だ→な／である・名詞 だ→の／な／である）＋わけではない。～というわけではない：普通形（ナ形容詞・名詞 だ）＋というわけではない。常配「いつも・だれでも・必ずしも」等。

■ 例句

1. 日本に住んでいても、だれもが敬語を完璧に使えるわけではない。
→ 就算住在日本，也並非人人都能完美地使用敬語。
2. 外食が嫌いなわけではないが、できれば家で食べたい。
→ 我並不是討厭在外面吃，只是可以的話想在家裡吃。
3. 値段が高ければ、必ずしも品質がいいというわけではない。
→ 並不是說價錢貴，品質就一定好。(配 必ずしも)
4. その日が絶対に無理というわけではありませんが、できれば別の日にしていただけると助かります。
→ 那天並非絕對不行，不過可以的話換到別天我會比較方便。

五、～というものではない・～というものでもない：並不見得...就對

■ 否定「只要…就一定…」的想法

～というものではない 表示「並不是只要...就一定...、並不見得這樣就對／就好」，否定「滿足某條件就必然成立」的看法，講的是說話人對事物本質的主張、感想。前面常配 ～ば／～たら 或 ～からといって。～というものでもない 語氣稍微柔和一些。

■ 形式規則

普通形（ナ形容詞 だ・名詞 だ）＋ というものではない・というものでもない。講對事物本質的主張、感想；前面常配 ～ば／～からといって。

■ 例句

1. 医者の仕事は、資格を取ればそれでいいというものではない。常に新しい知識を学び続ける必要がある。
→ 醫生這份工作，並不是考到資格就完事了，必須不斷學習新知識。
2. 自由だからといって、何をしてもいいというものではない。
→ 並不是說有了自由，就甚麼都可以做。(配 からといって)
3. 問題集は、一度解けば終わりというものではない。間違えた所を復習することが大切だ。
→ 習題並不是做過一遍就算了，把做錯的地方複習一遍才重要。
4. 謝れば、それで済むというものでもない。失った信頼は簡単には戻らない。
→ 並不見得道個歉就能了事，失去的信任不是那麼容易挽回的。(というものでもない)

六、常見錯誤與總整理

強烈否定 vs 部分否定

句型	否定強度	核心意思
～わけがない	強烈 (全盤)	絕不可能...、沒道理... (確信絕對不是)
～ものか	強烈 (全盤)	才不...呢 (帶感情、反問、口語)
～どころではない・どころか	強烈 (差很遠)	哪裡還能... / 別說...了，連... (甚至相反)
～わけではない	部分	並非...、不是說一定... (留餘地)
～というものではない	部分	並不見得...就對 / 就好 (否定條件必然)

■ 常見錯誤

- **×** 彼が嘘をつくわけではない。
○ **彼が嘘をつくわけがない。**
「絶不可能、没道理」這種全盤否定用 わけがない；わけではない 是「並非一定」的部分否定，語氣完全不同。
- **×** 日本人がみんな寿司が好きなわけがない。
○ **日本人がみんな寿司が好きなわけではない。**
「並非人人都...」這種部分否定用 わけではない；わけがない 會變成「絶不可能喜歡」，意思過頭。
- **×** 資格を取ればできるわけがない。
○ **資格を取ればできるというものではない。**
否定「只要...就一定成立」用 というものではない；わけがない 是「絶對做不到」，並非本意。
- **×** 忙しくて、旅行に行くところだ。
○ **忙しくて、旅行に行くところではない。**
「哪裡還談得上...」要用否定形 ところではない；少し ではない 就不成立。
- **×** あんな店、二度と行くわけか。
○ **あんな店、二度と行くものか。**
帶感情、反問式的「才不...呢」用 ものか；沒有「わけか」這個否定講法。

自己輸出：用 わけがない・ところではない／ところか・ものか・わけではない・というものではない 各寫一句。先寫兩句「全盤否定」（絶不可能、才不...呢），再寫兩句「部分否定」（並非一定、不見得就對）。
